

平成二十七年年度修士論文・卒業論文題目

◎修士論文

古典文学教材としての『一寸法師』研究 菅本啓

芥川龍之介「トロッコ」教材論―「語り」に注目した

授業実践を通して― 田代勝豊

◎卒業論文

現代俳句における「取り合わせ」の効果

―坪内稔典作品を中心に― 蒲生遼

グリム童話絵本「赤ずきん」における「残酷性」の変化

佐々木峻

「新美南吉作品における子ども物語」論 大畑賢

後鳥羽院歌の研究―『百人一首』を巡って― 寺戸愛

北京大学蔵西漢竹書『老子』研究―釈読を中心に―

中村成美

中原中也『在りし日の歌』

〜亡き児との関連性について〜 増田亜美

森見登美彦『「新釈」走れメロス他四篇』論

松岡大元

現代日本語における接尾辞「さん」の研究 森脇裕史

教材「絵仏師良秀」考

―「地獄変」との関連性を中心に― 諸田拓磨

白川静氏の文字学を応用した漢字教育 吉富一步

論文募集

『国語教育論叢』第二十七号の原稿を募集します。

一、内容：国語学、国文学、漢文学、書道・書写の研究。

国語教育に関する理論及び実践の研究。

一、枚数：四〇〇字詰原稿用紙四〇枚程度。

一、投稿締切：平成二十九年十月末日

なお、論文の掲載については、編集委員会にご一任願います。

宛先：松江市西川津町一〇六〇

(千六九〇―八五〇四)

島根大学教育学部言語文化教育講座内

『国語教育論叢』編集委員会